

米海兵隊との共同演習で射撃訓練をする陸上自衛隊員(米海兵隊ウェブサイトから)



集団的自衛権閣議決定

「海外で戦争する国」への道

自衛隊を戦闘地域に派兵

これまでは「武力行使をしてはならない」「戦闘地域に行ってはならない」という憲法上の歯止めがありました

た。歯止めを外し、アフガン・イラク戦争のような戦争を米国が引き起こしたら、自衛隊を戦闘地域に派兵することになります。

武力行使の歯止めなし

日本への武力攻撃がなくても「国民の権利が根底から覆される明白な危険」がある時には集団的自衛権を

行使するとしています。「明白な危険」を判断するのは時の政府。その一存で武力行使はどこまでも広がる危険性があります。

軍国主義復活の野望許さず

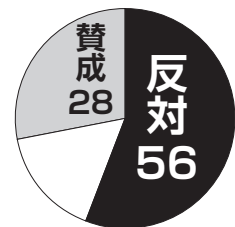
集団的自衛権の行使容認は、「戦争しない国」という戦後の日本のあり方を根底から覆すものです。これを与党だけの密室協議で強行するなど憲法破壊のクーデターにも等しい行

為。しかし一片の閣議決定で自衛隊を「戦闘地域」に送ることはできません。そのための法律が必要です。たたかいはこれから。安倍政権の軍国主義復活の暴挙の野望を打ち砕くため、力をあわせましょう。

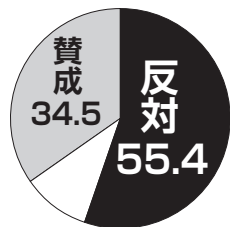
世論調査 「反対」過半数

憲法解釈変更による集団的自衛権行使容認には、新聞各社の世論調査で過半数が反対です。

集団的自衛権



朝日新聞(6月23日付) 共同通信(6月21、22日実施)



他国の戦争に巻き込まれる恐れ



毎日新聞(6月29日付)

憲法破壊のクーデター許さない

解釈で9条こわすな

半世紀にわたる国会審議で形成・定着した憲法解釈を一内閣の閣議決定だけで変更し、憲法9条をなきものにする—立憲主義の否定には、自民党の元幹事長ら、立場を超えて反対の声が大きく広がっています。

加藤紘一元自民党幹事長「集団的自衛権の行使容認をすれば、米国の要請で自衛隊が、地球の裏側まで行くことは十分に想定されます」「集団的自衛権の議論は、やりだすと徴兵制
古賀誠元自民党幹事長「戦争をしない国になるということが戦後政治の原点」「それを、こんな短期間の政党
阪田雅裕元内閣法制局長官「海外で武力行使しないことが9条の核心。」



加藤紘一元自民党幹事長のインタビューを掲載する「しんぶん赤旗」日曜版

まで行き着きかねない」(「しんぶん赤旗」日曜版5月18日付)
間の駆け引きで決着をつけるというのは、無責任すぎる」(雑誌『世界』7月号)
集団的自衛権の行使容認は、9条を削除するのと同じだ」(「東京」)

集団的自衛権の行使容認に反対します 日本共産党

内閣総理大臣 安倍晋三殿

【要望事項】

憲法解釈の変更による集団的自衛権の行使容認を行わないこと

氏名	住所

取扱団体●日本共産党国会議員団近畿ブロック事務所 〒540-0004 大阪市中央区玉造2-15-7 USビル2F

【お願い】 お手数ですが、この署名は、最寄りの共産党事務所にお届けいただくか、下記にファックスしていただくようお願いします。日本共産党国会議員団近畿ブロック事務所 Fax 06-6764-9115